

令和8年度中学校2年生および保護者対象

勝山中学校説明会



今日の説明内容

1 勝山中学校開校準備の状況について

校舎 スクールバス 校則・生徒会 部活動

2 連携型中高一貫教育について

探究の学びとは何か

勝山中学校での探究的な学び

勝山中学校と勝山高校の中高連携について

3 質問タイム

(1) 勝山中学校開校準備の状況について

校舎建設の進捗状況



校舎建設の進捗状況



地下横断歩道建設の進捗状況



勝山南部中地区のバスルート

1 平泉寺線



勝山南部中地区のバスルート

2 猪瀬線 1



勝山南部中地区のバスルート

3 猪瀬線 2



勝山南部中地区のバスルート 4 市街地循環線（南部方面）



勝山南部中地区のバスルート

5 遅羽線



勝山中部中地区のバスルート

6 北谷線



勝山中部中地区のバスルート

7 野向線

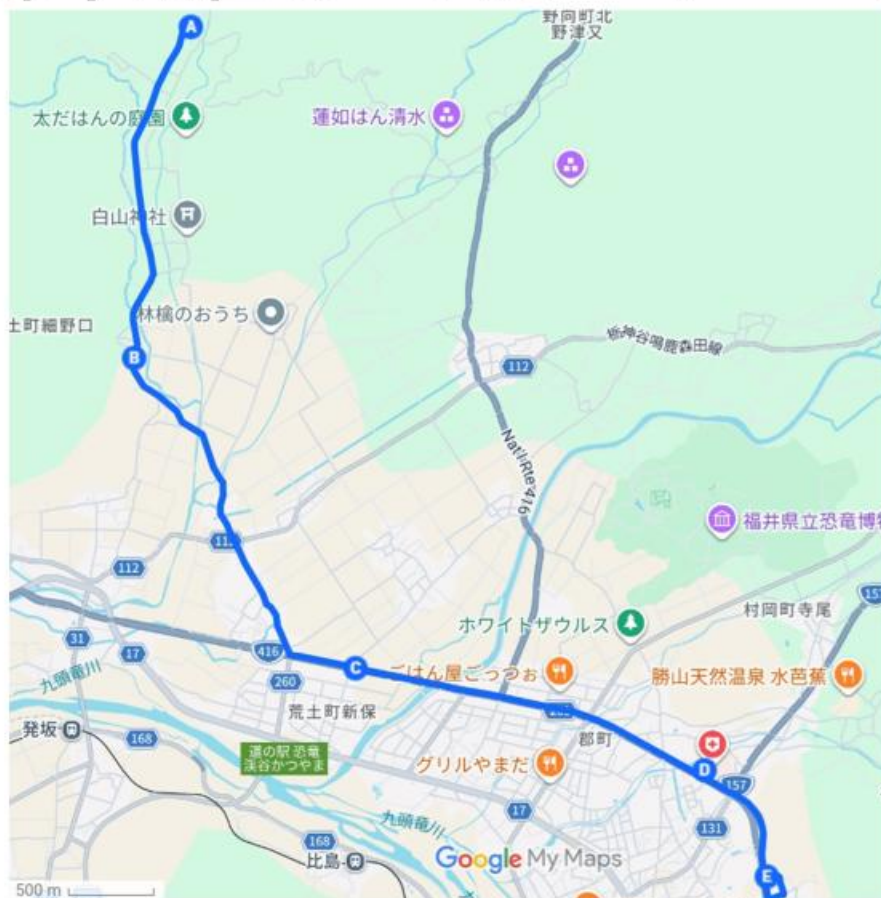


勝山中部中地区のバスルート 8市街地循環線（中部方面）



勝山北部中地区のバスルート

9 荒土線

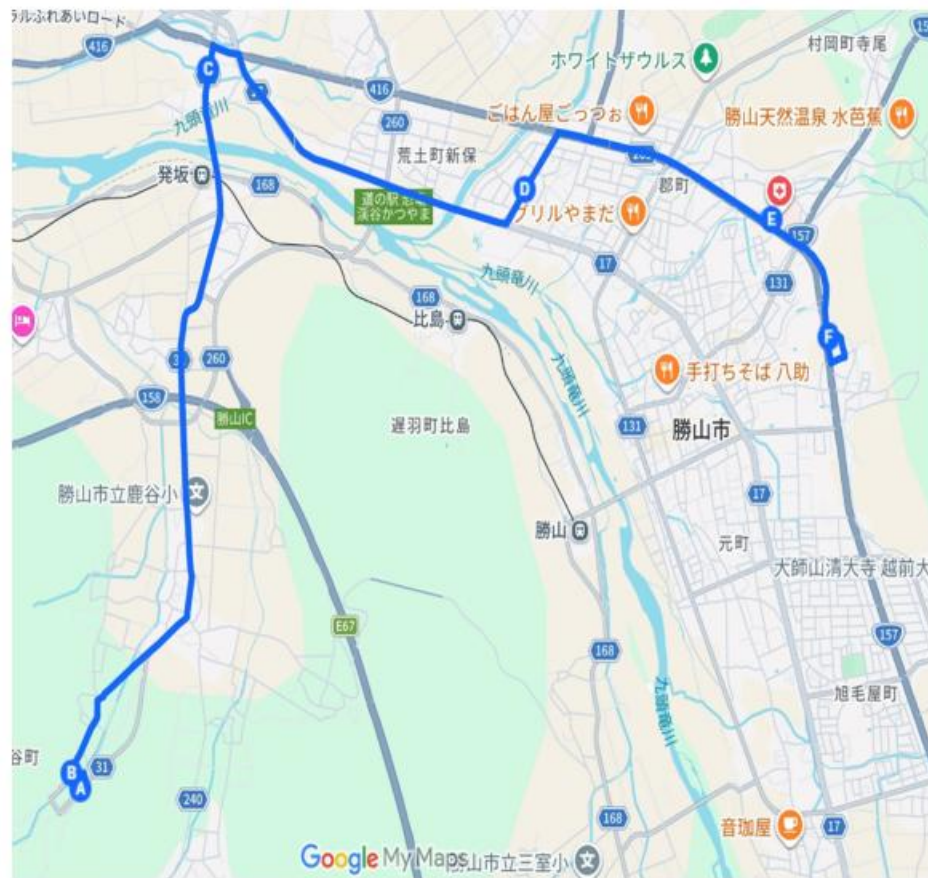


勝山北部中地区のバスルート

10 鹿谷線 1



勝山北部中地区のバスルート 11 鹿谷線2



校則検討スケジュール



令和8年5～6月 学級活動での話し合い

8月 前期生徒会役員（2年）等で校則案を作成

10月 内容の検討 校則案の整理

11月上旬 校長会での審議 学校説明会等において発表

生徒会組織編成スケジュール



令和8年9月 :R8後期とR9前期の選挙説明

12月～
2月中旬 :役員選挙告示 立候補締め切り
公示 選挙活動 立会演説会
投票 開票 結果発表

～3月中旬 :各校会長候補3人がオンラインで自己紹介

開校後 :会長候補3名に対する選挙を実施
会長・副会長を決定

設置部活動および認定地域クラブ

※現在の中学校の部活動を継続します

(R8年5月現在)



	設置部活動	対象	活動場所	認定地域クラブ
1	軟式野球	男女	勝高・中部中（協議中）	勝山クラブ（休日 一部平日）
2	サッカー	男女	勝高・西小（協議中）	勝山サッカークラブ（休日 一部平日）
3	ソフトテニス	女子	市営庭球場	勝山市ソフトテニス協会（休日）
4	男子バドミントン	男子	ジオアリーナ（協議中）	勝山市バドミントン協会（休日 一部平日）
5	女子バドミントン	女子	ジオアリーナ（協議中）	勝山市バドミントン協会（休日 一部平日）
6	男子バレーボール	男子	勝山高校（協議中）	奥越バレーボールクラブ（休日 一部平日）
7	女子バレーボール	女子	勝山高校（協議中）	奥越バレーボールクラブ（休日）
8	男子卓球	男子	多目的室	勝山市卓球協会（休日 一部平日）
9	吹奏楽	男女	吹奏楽練習室	勝山ユースアンサンブルルミナス（休日）
10	ボランティア（福祉）	男女	1階 学習室	ぼら勝（休日）
11	芸術（美術）	男女	美術室	勝山美術クラブ（休日）

	部活動関連以外の勝山市認定地域クラブ	活動場所
12	勝山アスリート（陸上）	鹿谷小グラウンド ジオアリーナ
13	勝山市柔道連盟（柔道）	勝山市B&G体育館柔道場
14	勝山ジュニアテニスクラブ（硬式テニス）	市営庭球場
15	かつやまジュニアクロスカントリー倶楽部	浄土寺川ダム周辺
16	そうごスイムサークル（水泳）	勝山市営温水プール
17	そうごトライアスロンサークル	勝山市営温水プール周辺道路
18	つながる太鼓部（和太鼓）	ジオアリーナ多目的室

- ・ 認定地域クラブは、現在、市が認定作業中です。
- ・ 加入は希望制で、個人で申し込んでいただきます。
- ・ 部活動と異なる認定地域クラブに加入することもできます。



(2) 連携型中高一貫教育について

- 探究の学びとは何か
- 勝山中学校での探究的な学び
- 勝山中学校と勝山高校の中高連携について

探究の学びとは何か

- 探究の学びは、普通科系・職業系のどの高校でも取り組んでいる
- 職業系高校では、企業等と連携して実践的な「課題研究」として実施
- 普通科系高校から大学進学を目指すのであれば、今後は「普通科」よりも「探究系学科」がより有利になる
 - ・大学入試では「探究の経験」「主体的な学び」が重視されている
 - ・探究系学科は、大学や企業、地域等と連携し、思考力・表現力等を伸ばすカリキュラムが整っている
 - ・福井県でも探究系学科の設置が進み、人気・倍率が上昇している

職業系学科の課題研究（探究）の学び

職業系高校で行う「課題研究」は、就職に直結する実践力を育てる学び

自分(達)でテーマを決めて、計画し、作り、試し、改善し、成果をまとめるという、社会での仕事そのものに近い学び

課題研究の例：

工業科：ロボット製作、プログラム開発、製品改良など

商業科：企業と連携した商品開発、販売実習、データ分析など

農業科：作物栽培の改良、食品加工、地域農家との協働など

福祉科：介護技術の研究、福祉用具の改善提案など

情報科：アプリ開発、Web制作、デザイン研究など

課題研究の学びを「就職」に結びつける

① 面接で話せる「実績」ができる

企業が面接で聞きたいこと：「高校で頑張ったことは何ですか？」

課題研究は、取り組んだテーマや工夫した点、困難をどう乗り越えたか、成果が明確なので、説得力のある自己PRができるようになる

② 企業が求める力が自然と身につく

主体性、計画力、協働力、問題解決力、コミュニケーション力

③ インターンシップ・資格取得と相乗効果がある

「実績＋資格＋現場経験」を進路選択に活かす

高校の課題研究に接続するため、中学校の探究の学びを充実することが必要

普通科と探究系学科の違い（カリキュラムはほぼ同じ）

○普通科とは

- 中学校の学びをさらに広く深く学ぶ学科
- 国語、数学、英語などの教科を中心に基礎学力をしっかりとつける
- 進路は主に大学・短大への進学が中心

○探究系学科とは

- 「正解のない問いに挑む力」を育てる学科
- 普通科のカリキュラムに加え、探究活動を重視した学びを進める
- 大学や企業、地域等と連携した授業が多い
- 思考力・判断力・表現力の育成を重視

福井県の探究系学科 ※倍率は、令和8年度一般入学者選抜志願倍率

高志	探究創造科（2,3年次	人文創造科	理数創造科）	1.97倍
武生	探究進学科（2,3年次	探究文科	探究理科）	1.61倍
若狭	文理探究科（2,3年次	国際探究科	理数探究科）	1.87倍
羽水	探究特進科			3.70倍
勝山	探究特進科			1.14倍
鯖江	探究科			1.59倍
敦賀	文理進学科（2,3年次	理数進学科	人文進学科）	1.05倍
武生東	学際フロンティア学科			1.02倍
	（2,3年次	フューチャー科	フューサインス科	グローバル科）

大学進学を見据え「探究で学ぶ力」が評価されている

※勝高の4大進学率 R4：58.3% R5：73.0% R6：73.1% R7：77.1% (過去最高)

大学入試で求められる力と、探究系学科の強み

大学入試では、

- 思考力、判断力、表現力のほか、主体的に学ぶ姿勢や探究活動の経験が重視されるようになってきている

※総合型選抜（旧AO入試）、学校推薦型選抜で特に顕著

学力試験のほか、志望理由書、面接、小論文、高校での活動実績などを評価

探究系学科では、

- 身近な課題などをテーマに探究スキルを活用した探究活動を実施
- 発表会などプレゼンテーションをする機会が多い（人前で話す力を育成）
- 大学や企業、地域等の方々と協議したり、出前授業を受ける機会が多い
- 学校によっては海外研修の機会を設けている

など、大学入試で評価される活動がカリキュラムに組み込まれている

勝山中学校での探究的な学び

- 現在の3中学校と同様の探究的な学びを進める
- 勝山高校の探究的な学びに触れ学び、どの高校に進学しても役立つスキルや思考力、表現力等の能力向上をめざす
- 探究テーマは自由だが、探究の過程で資質能力を育成する

※勝山高校は、令和10年度入試から普通科を募集停止し、探究科1学科の学校となります

勝山中学校と勝山高校の中高連携について

中学生が勝山高校の探究の学びや学習指導に触れ学び、
どの高校に進学しても役立つ中学校3年間の学びを充実する

○全生徒を対象とするもの

- (1) サポート授業（中学3年生）
- (2) 将来を考えるキャリア教育（ライフデザインタイム）

現在検討中の
プランです

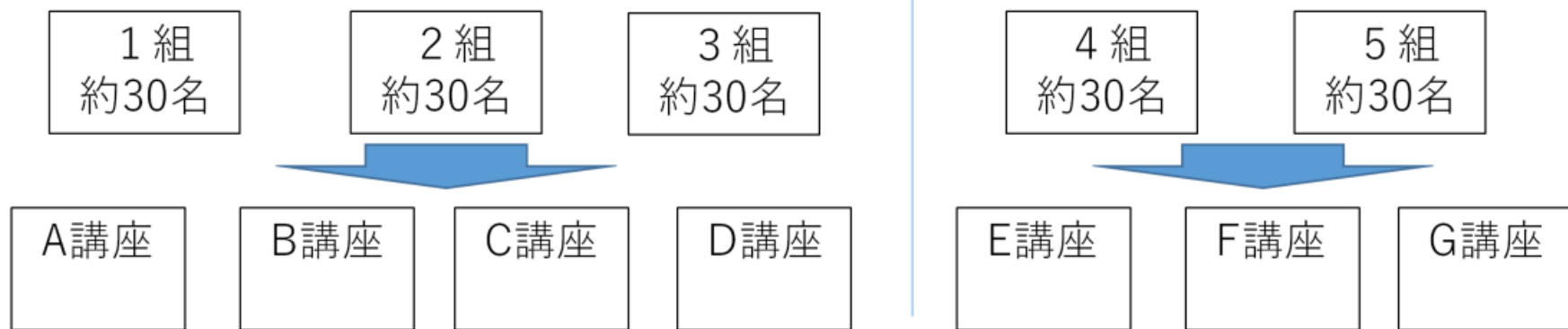
○勝高を志望する生徒（連携生徒）を対象とするもの

- ・勝高校志望者には「連携プログラム」を実施し、学力検査によらない入試を行う
 - ※中学3年進級時に進路希望調査（全員）を実施し、勝高志望者を連携生徒とする
- ・「連携プログラム」は連携生徒を対象に、中学校3年間の復習を行うとともに、勝高入学後の学びにスムーズに接続する指導を行う

(1) サポート授業（中3：数学・英語）

全生徒対象
内容は検討中

少人数クラス編成で実施



- 1学期当初は中学校が統合しクラス替えもあるため、クラス単位での授業を予定
- どの講座(クラス)にも定期的に勝山高校の教員が参加し、授業をサポートします
- 少人数にすることで、より丁寧に学習の理解定着を支援します

(2) 将来を考えるキャリア教育 (ライフデザインタイム)

全生徒対象
内容は検討中

キャリア教育とは

「学校での学び」と「自己の将来」とのつながりを見通し、主体的に自らの人生を設計（デザイン）する力を育む教育

- 企業の経営者や専門職などから直接話を聞き、様々な職種を学ぶ
ライフデザインリレー講座を全学年で実施
- 高校や大学等の教員から大学進学や学問の分野について話を聞く
- 高校説明会に2年生も参加、「14歳の挑戦」などは引き続き実施

※一部を今年度からスタートします

○勝高志望生徒（連携生徒）を対象とするもの

（3）連携プログラム（連携生徒＋希望者）—学びの魅力講座（仮称）—

高校入学後の学習への接続や進路意識向上を図るため、勝高の教員による指導や、外部人材による進路講話などを実施

① 1学期（5月以降想定）

- ・高校の探究学習に接続するため、探究スキルを学ぶ

② 2学期（部活動引退後）

- ・高校の教科の内容に触れる講座を通して高校や大学の学びに触れる
- ・中学校段階の学習の定着・深化のための自主学習講座を実施

③ 3学期（1月の連携入試後）

- ・勝高1年生0学期として、高校1年の数、英の内容を発展的に学習

中学2年生の皆さんへ ー勝山中学校3年生への準備に向けてー

- 2年生の3学期に、全員を対象に進路希望調査を実施します
- 中学3年になってから進路を考え始めるのではなく、今から少しずつ考えていきましょう
- 進路の情報はライフデザインタイムを通して提供します
- 勝高を志望する生徒は、3年生から連携生徒として連携プログラムにも取り組みます
- 部活動や学校行事などにも積極的に取り組みましょう

(3) 質問タイム



質問はこちらからご記入ください。
後日、お便りなどで回答します。